

§ 1-4.

第1章のまとめ

- * 色白肌を伴う顔は女性として判断され易く、肌色による印象の変化は女性的形態を備えた場合に顕著となる。
- * 肌色明度が低く暗い色の場合には丸みが軽減され、反対に高く明るい色の場合には丸みが強調される。
- * 高明度の場合には、形態の女性性に伴って肌色がより明るく感知される可能性がある。
- * 観察者の性別が女性である場合、形態パターンによる肌色作用の強度差が顕著となる。特に女性的形態を備えた場合には肌の明るさによる性別の印象変化が著しくなる。